

大正建築・国登録有形文化財

篆刻^{てんこく}at石蔵

平成3年に日本初にして唯一の篆刻専門の美術館として開館しました。建物は、旧城下町の石町通りに面し、大正時代に建築された3階建ての石蔵を、当時の雰囲気を残して展示室に改修したもので、国登録有形文化財に登録されています。篆刻とは、印章から発展したもので、漢字の古い書体である篆書を石や木印材に刻し、朱色の印泥を付けて紙に鈴（お）したものを鑑賞するものです。当館では、古河出身の篆刻家・生井子華（1904～1989）の遺作を中心に収蔵・展示しています。随時、「篆刻体験」（3日前迄に要予約）も受付けております。伝統に基づく文字の歴史を石に刻む「篆刻」と「石蔵」とを結びつけ、古河のまちのランドマークになっています。

篆刻美術館

2025 6.28^{sat} → 8.27^{wed}

開館時間 | 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 | 月曜日（祝日の場合その翌日） / 第4金曜 ※ただし8/25は開館します

入館料 | 一般200(150)円 / 小中高生50円 / 三館共通券600円

※()内は20名以上の団体料金

※三館共通券は篆刻美術館・古河歴史博物館・古河文学館の三館を観覧できるお得な共通券です

〒306-0033 茨城県古河市中央町2-4-18

TEL.0280-22-5611 / FAX.0280-22-5915

[てん刻美術館](#) で検索



交通案内

電車 | JR 宇都宮線古河駅西口から徒歩約8分 / 東武日光線新古河駅から徒歩約25分

古河市循環バスぐるりん号西コース「22 篆刻・街角美術館」下車

自動車 | 東北自動車道久喜ICより約40分、加須IC・羽生IC・館林ICより約30分

国道354号線三国橋を渡り信号を左折、900m先右側にごさいます

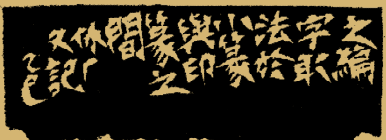
国道354号バイパスを通ると「新三国橋」に出てしまいますのでご注意ください

駐車場は篆刻美術館より道路を挟んだ向かい側にごさいます



第十七回

日本篆刻家協会役員展



真鍋井蛙
韋編三絶『史記』